

**思い込む前に、一度は疑ってみよう！**

鈴木 克之（化学生命工学科）

世の中には多種多様な物事が絶え間なく増え続けていますが、それらを正確に知り、理解することはとても困難で、気にし始めると頭が痛くなったり眠られなくなったりしますよね。えっ？私だけですか？興味ないと無視することは簡単ですが、それらの中には私たちの生活に影響を与えるものも多いと思います。しかも、米国トランプ大統領がよく発する言葉のように、フェイクが含まれているとしたら、私たちはどうしたらよいのでしょうか？答えは、まず自分の頭で考えることだと思います。

学問の世界に生きている私たち教員や学生さんは、日々の授業や試験の際、答えを求めたり、求められたりしていると思います。何が正しいのか？とりあえず正解や模範解答はあるのですが、本当はとても難しい問いなのかもしれません。

私と同じような悩みをもつ方にお勧めの本を以下に紹介します。

少し古い本になりますが、①竹内薫(著)の『99.9%は仮説』は、特に科学に関わっている工学部の学生さんにお勧めの本です。この本ではこれまでのいわゆる科学的定説が、本当は(単なる)仮説なのだ(かもしれない)と解説しています。

もう少し、分野を広げると、②武田邦彦(著)の『武田教授の眠れない講義「正しい」とは何か?』をお勧めします。これまでなんとなく正しいと考えていたことが、いろいろな基準や理由によって正しいとされていることがわかつてきます。

上記2冊の本を読んだ方は、是非試しに次の2冊の本を読み比べてみてください。

③高田泰(著)、MB ビジネス研究班(著、編集)『親子で学ぶ地球温暖化。みんなで原因と対策を考えてみよう。小学6年生でも読める温暖化。10分で読めるシリーズ』

④渡辺正(著)『「地球温暖化」狂騒曲：社会を壊す空騒ぎ』

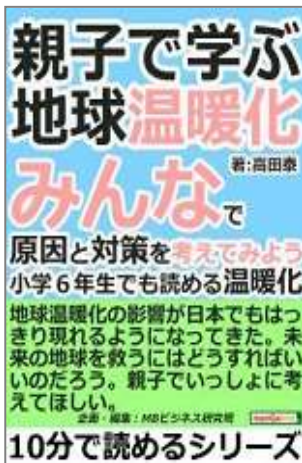
いまだに論争の絶えない、しかし私たちの生活に深く関わる社会問題である「地球温暖化」に対して、皆さんは何を信じ、どう考え、どう行動しますか？対象読者層が極端に異なる2冊を比較するのはアンフェアかもしれませんが、もしもフェイクが前者③に含まれているとしたら、罪は後者④の場合より大きいと私は考えます。



①『99.9%は仮説』  
竹内薫／光文社



②『武田教授の眠れない講義「正しい」とは何か?』  
武田邦彦／小学館



③『親子で学ぶ地球温暖化。みんなで原因と対策を考えてみよう。小学6年生でも読める温暖化。10分で読めるシリーズ』  
高田泰、MB ビジネス研究班／まんがびと



④『「地球温暖化」狂騒曲：社会を壊す空騒ぎ』  
渡辺正／丸善出版